



指定障害者支援施設

さやま園  だより

GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

## (新) 曲がったきゅうり

20年ほど前、勤めていた福祉センターで始めた壁新聞の名前が、『曲がったきゅうり』でした。農薬や化学肥料を使った真っ直ぐなきゅうりより、曲がっていても味のあるきゅうりに魅力を感じていたことが、このネーミングのきっかけでした。その後、通所施設へ移り、『曲がったきゅうりII』を施設通信に連載しました。その頃の文章がこれです。

こんにちは みやもとです。以前のそよかぜ通信で紹介したことがありましたが、『曲がったきゅうり』は前任地での壁新聞のタイトルでした。曲がっていても味は同じ、むしろ味わいがあると名づけたタイトルでした。今年そよかぜ通信に、ありがたいことにスペースを作っていたが、何か書けとので、先ずはタイトルからご紹介といったところで。・後略

さやま園のHPが完成し、またまた何か書けと言うことですので、『新曲がったきゅうり』として、駄文を連載したいと思えます。加齢に伴う脳の低回転が顕著ですので、迷分、変文お許しください。

## 「再生の力」

ブラシの木をご存じだろうか。さやま園の中庭には、このブラシの木が2本植わっている。一昨年の冬の豪雪をご記憶だと思う。首都圏を含む関東甲信地方は、交通機関のマヒ、寸断でパニックになった。さやま園の降雪も数十センチとなり、庭の木々も大きな被害を受けた。かのブラシの木にも濡れた重い雪が積もり、幹が裂けて折れてしまった。降雪の翌日庭を見回ると、無残な姿のその木がなんとなく気になり、包帯ならぬ白いビニールテープで応急処置を施した。

そんなことはすっかり忘れて5月の下旬、庭を巡っていると見たこともない不思議な赤い花が咲いている。くだんのブラシの木である。煤けて汚れてはいるが、ビニールテープもそのままである。瀕死の重傷であったブラシの木が、見事に再生し、燃えるような赤い花をつけたのである。

利用者の加速度的な高齢化に支援が追いつかず、後手に回る申し訳なさを感じている。通院や入院が増え、そのたびに安否を気遣うことに慣れてきてしまった。病院から園に戻っていただくたびに、介助度が増していく。歩けていた方がカートになり、車いすになっていく。食べられていた方が、刻み食、ミキサー食になっていく。老け込むにはまだまだ早いです。まだまだ楽しいことだ。あってありますよ。もう一度、もう一度復活して、笑顔を見せてくださいよ。歩いて、食べて、笑って、泣いて。花を咲かせてくださいまし。真っ赤な花を！

園長 宮本浩史

ブラシノキ(学名:Callistemon speciosus)は、フトモモ科ブラシノキ属の常緑小高木。別名、カリステモン(本来は属名のラテン名である)、ハナマキ(花楨)、キンボウジュ(金宝樹)。学名のカリステモンはギリシャ語で「美しい雄しべ」という意味。



# さやま園 女子トーク PART1

## 「食べること」



さやま園は、最近、男子も入りましたが、やっぱり女の園。ちょっと集まれば女子トークです。何をしゃべっているのでしょうか。  
今回のお題は、みんな大好き『食べること』です。

鈴木さん：お肉が好き。

棚網さん：さやま園の給食は、おいしいから大好きだよ。

安澤さん：おいしいですよ。

棚網さん：グラタンでしょ。ハンバーグ、パエリアにチャーハン。カレーでしょ。みんな美味しいよ。

大澤さん：みんな美味しいよね。南瓜料理も好き。かぼちゃサラダでしょ。ごぼうサラダ、ポテトサラダ。あれ？サラダばかりになっちゃった。

土橋さん：BBQがおいしかった。夏祭りで出たんだっけ？おいしかったなあ。

安澤さん：ステーキ!!! ステーキは素敵♥

土橋さん：出ないじゃん。卵かけご飯も出ないね。

棚網さん：握り寿司。食べたいな。

大澤さん：ケンタッキー!あと、明野で職員が作ってくれたカレー。

船橋さん：明野の鉄板焼きはおいしかった。

鈴木さん：おまんじゅうとコーラも好き。とろとろウナギは嫌い。

佐藤さん：豆、豆はきらい。

石井さん：チーズとあんこは嫌い。代替えだよ。

安澤さん：煮物は苦手だったけど、さやまで食べられるようになった。お茶も飲めるようになった。

棚網さん：人参とエビは嫌いだけど、がんばって食べてる。

安澤さん：イナゴが苦手。

みんな：出ないでしょ!

棚網さん：丼もおいしいよね。焼肉丼、天井、他人丼。

土橋さん：かつ丼! 今度、すきやき丼が出るって。

石井さん：まぐろ丼が好き〜。

鈴木さん：親子丼が好き。ダイエーのラーメンも好き。

大澤さん：おいしいよねえ。

安澤さん：お子様ランチが食べたい!

みんな：えー! 出ないでしょ!

止まらない女子トーク。話しているうちに、どんどん人が集まるし。おいしい話は楽しいですね。次回のお題は、『おしゃれ』の予定。どんな話が飛び出すか。



## DAY ACTIVITY REPORT

# 日中活動レポート くれあの巻

「くれあ」はイタリア語で“創り出す”という意味があります。

作業棟の中で一番大きな部屋。笑い声や楽しい話し声が聞こえてきます。

中を覗くと、前かがみになって静かに机の上を覗き込む人、背筋を伸ばしてペンも持つ人、エプロンを付けて粘土をこねる人、小さな穴に糸を通す人、色々な人がいます。

伝えたい思いがある。ただ好きだからする。楽しそうだからやってみる。頼まれたから頑張っちゃう。

原動力は無量大。想像力も無量大。さて次はどんな素敵なものが創り出されるのでしょうか？

利用者

みんなの  
声

**木村さん**・「今は牛乳パックでボックスを作ってる。」「細かい作業が好き。粘土も好き。」

★手先が器用な木村さん。以前通っていた作業所での経験を生かして頑張っています。

**西川さん**・「好きなことはクロスステッチとトシ(有名な往年のアイドル)の歌を聞くことです!去年は手芸をしていただけ、作ってみたいと2月からクロスステッチを始めました。目標は1年間で100個!」

★新しく始めた作業も板につき、すでに十数点の作品が出来上がりました。今年は作品展に初出品します。

**大野さん**・「手芸や陶芸をしてる。結構おもしろいわよ。今年も作業をたくさんしたい!」

★手芸が得意で、園祭で販売しています。去年園祭に来てくれたお客さんのリクエストに応えるべく、ママチャリの子どもの椅子用クッション作りに励んでいます。

くれあ担当職員 真辺さん

くれあは、手芸や造形が好きな人の集まりです。

手芸の好きな人は、コツコツとタッピング・クロスステッチ編み物・刺し子・ビーズ等で大作を作ります。造形の好きな人は、様々な手法で絵をかいたり、新聞紙や牛乳パックを利用して形あるものを作りだしています。作品展の出展をしたり、さやま園祭のバザーに出展をしています。作ったものが作品になる喜びを利用者と共に共感する職員たちです。





## 訪問美容クローバーさん

小平市にある『訪問ヘアサロンクローバー』は在宅介護の方や、施設の利用者の方への訪問美容サービスを行なっています。

さやま園へは2年前よりお世話になっています。陽気な若いご夫婦は緑のユニフォームをシャキッと着こなし、にこやかな笑顔で利用者の方を迎えてくれます。いつも使っている浴室が、たちまちお店に変身します。

ドアの前のサインボードには『さっぱり! スッキリ! きれいに!』と書かれていて、ついつい覗きたくなってしまいます。

・だって楽しい会話とクラシック音楽、みんなで演歌を歌う声が聞こえてくるんですもの・♪

### ●訪問ヘアサロンクローバー代表 小宮久司さん

『さやま園様には定期的にお伺いさせて頂いております。

ここに来ていつも嬉しく思うことは、クローバーが来ることを楽しみに待っていて下さる方たちがいらっしゃる事です。

カットの後に、口紅をつけるとニコニコしながら「キレイ?」「さらに綺麗になりましたよ!」と会話が弾みます。

クローバーでは髪を切るだけでなくおしゃれの発信源になれるような場所と時間を提供したいと思っております。

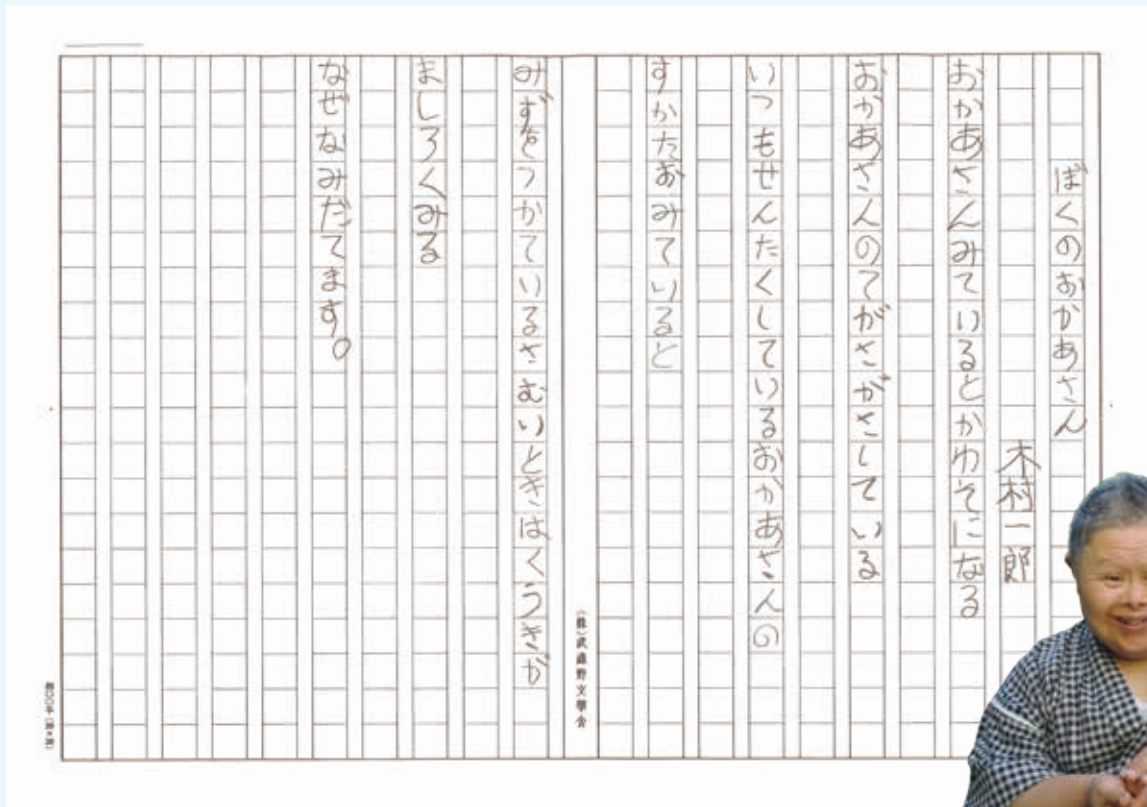
おしゃれをすることは「綺麗になりましたね!」と人から褒められる機会が増え、自然と自分に自信が持てるのです。その自信は生活の質の向上につながると考えます。

これからも沢山の方に喜んでいただき、より良い生活が送れますよう、美容のサポートをさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。』



クローバーさんオリジナルのモバイルシャンプー台  
このシャンプー台を据えると、どんな空間も美容室に早変わり♪





I am  
SAYA-MAN



## 職員のつぶやき

うわっ なんだこりゃ!

作業棟の一室、しかも片隅に禍々しく置かれた2台の調理器具。スイッチを入れると、ドンッ、ドンッと電源が入り、じんわりと庫内が温まっていく。もう1台は静かに湿気がたまっていて、なんとも居心地が悪そうな空間。さやま園に来た2台のベーカリーマシンは、その使い込まれた風貌も相まって異様な圧迫感を醸し出す。とりえず焼いてみることにする。成形した生地を居心地の悪い空間に入れて待つこと1時間。膨らみ切った生地をアツアツの窯の中へ。見た目いい感じのブツを試食。・・・まずい。それからはもう試行錯誤の連続。園祭で焼きまくり、給食で焼きまくり、試作で焼きまくり。

何とかコツをつかんで調理実習に持ち込む。皆で生地をこねると、仕切る人、嬉しそうに見るだけの人、何とかやってみようとする人。食事の時には見せない表情だなあ。面白いなあ。次は なんだっけ・・・。喫茶か。また皆とやれるのかなあ。楽しそうだなあ。

調理支援員 真藤

## WORK SHOP in SAYAMA.EN

ボーダーレス・プロジェクト第1弾! 藍の生葉を使った、手ぬぐいを染めるワークショップを開催。(要予約)

日時: 2016年8月4日(木) 午前の部 9:45~11:30  
午後の部 14:00~16:00

参加料: ¥2,000 (材料費込み)

●詳細は、さやま園ホームページのNewsをご覧ください。

## お知らせ

### \*缶回収

ちょっと人のお役に立つ(ハッピーにする)SAYA-MAN(さやまん)。そんなSAYA-MANマークを掲げ、地域の缶回収プロジェクト実施中です。

### \*サロン・すまいる

毎月ブタレーヌやクッキー、ブラウニーなどを販売しています。

日時: 毎月第4木曜日

場所: 東村山市富士見町 第3万寿園

詳細はさやま園 サロン・すまいる担当までお問い合わせください。

## 行事

### 《報告》

5月26日(木): 運動会

6月23日(木): 利用者検診

### 《予定》

夏祭り 7月26日(火) 17:00~19:30

藍の生葉染めのワークショップ 8月4日(木) 9:45~11:30/14:00~16:00

THE シークレットイベント 2016夏 8月15日(月)

さやま園祭 10月16日(日)

## 編集後記

灼熱の夏が、もうそこまでやって来ています。夏と言えばアイスにかき氷、お祭り、盆踊り、海水浴、プール。さやま園では、新しくエアコンが設置されつつあります。快適な夏が迎えられるかな?

発行元: 指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者: 宮本浩史

住所: 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL: 042-391-3275 • FAX: 042-391-3276

さやま園のホームページができました!

Let's access!

<http://www.sayamaen.com>

